

遊びながら賢くなる、 将棋で育む子どもの力

記憶力

集中力

思考力

を育む。

1 将棋で磨く、一生ものの記憶力

将棋は、単なる勝ち負けのゲームではありません。

記憶力を鍛えるのにも効果的な遊びです。過去の対局や定跡を覚えることで、自然と記憶力が鍛えられます。また、将棋で身についた記憶力は、学校の勉強、例えば英単語や歴史の暗記にも役立ちます。



2 将棋で鍛える、究極の集中力。

将棋は「考えるスポーツ」とも言われます。

相手の一手を読み、自分の最善手を見つけるためには、強い集中力が必要です。一手一手を慎重に考えるうちに、頭の中ではさまざまな可能性が広がっていきます。その過程で、「考える体力」や「注意を維持する力」が自然と身につき、集中力を鍛えることができます。



3 将棋の奥深さが育む、思考力。

将棋は、思考力を磨く最高のトレーニングです。

自分の次の一手だけでなく、相手の動きを予想して考える必要があります。何度も失敗を繰り返しながら、少しづつ読みの深さを身につけることで、思考力が養われます。将棋を通じて培った思考力は、勉強や日常生活においても大いに役立ちます。

レッスンの流れ

指導



駒の動かし方や定跡、中終盤の考え方、対局の振り返りを通じて、「考える楽しさ」を学んでいきます。

対局



指導棋士や同じクラスの生徒と対局することで、日頃の学びを実践します。また、対局を通して礼儀やマナーなども学ぶことができます。